

第3部 職業体感型教育モデル開催マニュアル

3-4 専門学校勉強会

(高等学校教員を対象とした勉強会の開催)

I	事業の概要	302
II	アンケート調査の結果	305
III	令和2年度専門学校勉強会の流れ	307
IV	開催マニュアル	308
1	開催案内	308
2	PR及び開催受付サイトの整備	308
3	開催申込み	309
	(1) 高校訪問による調整	
	(2) フォームからの申込み	
4	分野別資料の作成・更新	310
	(1) 分野別資料の共通の説明項目	
	(2) 分野別資料の特徴	
	(3) 分野別資料の更新	
5	開催内容等の調整	312
	(1) 開催会場の確保等	
	(2) 開催内容の調整	
6	説明者の決定、派遣依頼	312
7	勉強会の開催	312
8	アンケートの実施	313
9	経費負担	313
資料		
	・チラシ「専門学校勉強会」のご案内	314
	・専門学校勉強会のサイトの構成	315
	・専門学校あて派遣依頼文書	318
	・アンケート様式	319
	・アンケート調査集計結果	320
	・アンケート調査集計結果(参加教員年代別集計)	321

I 事業の概要

1 事業の紹介

専門学校勉強会は高等学校教員に対して、職業や分野、職種に関する最新の情報や専門学校に関する様々な情報を提供し、進路指導に役立てていただくことを目的に開催しています。

高等学校から北専各連に開催の申込みをいただき、北専各連の「専門学校理解向上実行委員会」の委員が高等学校の担当教員から開催希望内容を確認します。そして、これに基づいて専門学校からの説明者を選定します。



開催には高等学校の会議室などを会場としており、開催時間はおよそ1時間30分から2時間程度となっています。

事業の開始から5年目となりましたが、参加した教員の皆様からは高い評価をいただいています。受講した教員に対するアンケート調査では、特に若い教員において毎日の業務の中で得られる情報に対する満足度が低く、理由としては「進路指導で役立つ形で入手できない」「情報の信ぴょう性がわからない」などの回答を得ています。

【専門学校勉強会に係る北専各連機構（関係分）】



2 事業の経過

北海道では高校卒業後の進学者のうち約3分の1が専門学校に進学しています。

こういった状況のなか専門学校から、専門学校の枠組みを超えて広範な情報を高等学校教員に提供することで、進路指導に積極的に活用してもらい、生徒の適切な進路選択に役立ててもらうことが必要との意見が出てきました。

このため平成29年3月8日に広報企画委員会に「専門学校理解向上実行委員会」が設置され、具体的な取組がスタートしました。

専門学校勉強会の開催状況

年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
開催高校等数	1 会場	7 会場	7 会場	10 会場	5 会場
参加教員数	5 人	117 人	131 人	130 人	67 人

(令和 2 年度は 1 月 8 日現在)

3 事業の特色

(1) 専門学校の枠を越えた取組

専門学校勉強会では個々の専門学校の枠を超えた取組が行われています。

高等学校教員にとっては、生徒の進路指導に役立てたいと考えて情報収集した際には、まずは個々の専門学校に固有の情報ではなく、幅広く進路選択や将来の職業選択に役立つ形での情報を求め、生徒に提供したいと考えています。

このため専門学校勉強会では、説明者は個々の専門学校の教職員ですが、当該専門学



校でのみ通用する情報ではなく、極力、当該職業分野の教育を行っている専門学校全体で共有できる情報を提供しています。

また、根拠を明らかにして情報を提供するなど、情報の信頼性についても配慮して説明するようにしています。

こうしたことでより新しく、より正確な情報が生徒に伝わるのが何よりも重要と考えています。

(2) 高等学校の要望に応じた内容での開催

専門学校に関して知りたい情報は参加する教員によって、あるいは生徒の専門学校進学状況などによって異なります。

このため、開催に当たっては担当の教員と窓口となる専門学校の職員が、どのような内容で開催するか打合せを行い、参加する教員の希望を把握しながら開催内容をつくっていきます。教員にとって知りたい情報を提供することで、進路指導に役に立つ情報の提供を目指しています。

(3) 分野別の説明資料の作成

専門学校勉強会では参加した教員に対する説明資料として、「分野別資料」を作成しています。

分野別資料は、各職業分野ごとに「業界の動向」、「主な職業」「教員の方々に知ってい

ただきたい事項」「支援制度」などをまとめたものです。

業界の最新の動向を盛り込むとともに、関係する職業や資格を紹介し、また、分野によってなかなか知られていないことや誤解されていることなどを紹介しています。

紹介する内容は客観的なデータに基づいたものを基本とすることで、進路指導に役立てていただける内容となっています。

現在、17 分野がまとまっています。

II アンケート調査の結果

専門学校勉強会では勉強会に出席していただいた教員の方々にアンケート調査を行っています。アンケート調査の集計結果は 320 ページをご覧ください。

これまでに 360 人の方から回答をいただいておりますが、勉強会に複数回参加されて、その都度、回答いただいている方もおられるので、そのことをご承知おきください。

回答していただいた教員の年齢は、20 代と 30 代がそれぞれ約 21%、40 代と 50 代以上がそれぞれ約 28%で、教員歴は 20 年以上が最も多く、次いで 5 年未満、10～20 年、5～10 年の順となっています。



【情報の入手について】

「毎日の業務で、専門学校に関する情報は得られていますか？」との質問に対しては、「十分に得られている」「ほぼ得られている」が合わせて 43.9%、「あまり得られていない」「不足している」が同じく 53.6%となっています。

これを教員の年代別にみると、40 代以上の教員は「十分に得られている」「ほぼ得られている」が過半数である一方、30 代以下の教員は情報が不足している傾向にあり、特に 20 代は約 77%が不足している傾向にあると回答しています。



情報の入手方法では、「インターネットから」(28.6%) が最も多く、次いで「専門学校の職員から」(22.2%)、「教育情報誌から」(18.0%)、「教育関係業者から」(14.3%)、「卒業生から」(14.2%) の順となっています。

こちらも年代別にみると、若い世代ほどインターネットからの入手の割合が高くなる一方で、専門学校職員や卒業生からの割合が低くなる傾向にあります。

【情報の満足度について】

「毎日の業務の中で得られる情報に満足していますか？」との質問には、57.5%が「満足している」「ほぼ満足している」と回答しています。一方で 41.4%が「あまり満足していない」

「不満である」と回答しており、理由として「進路指導に役立つ形で入手できない」(40.2%)、「情報の信憑性がわからない」(31.2%)、「いつの情報かわからない」(19.1%)などが挙げられています。

これを年代別にみると、20代では「あまり満足していない」「不満である」が60.2%と半数を超えており、その理由としては「進路指導に役立つ形で入手できない」が53.2%となっています。

【専門学校勉強会で知りたいこと】

専門学校に関することでは上位から、「卒業生の動向」(18.6%)、「学費や必要経費」(14.2%)、「取得可能な資格と合格率」(13.4%)、「高校生への進路指導アドバイス例」(13.3%)などとなっています。

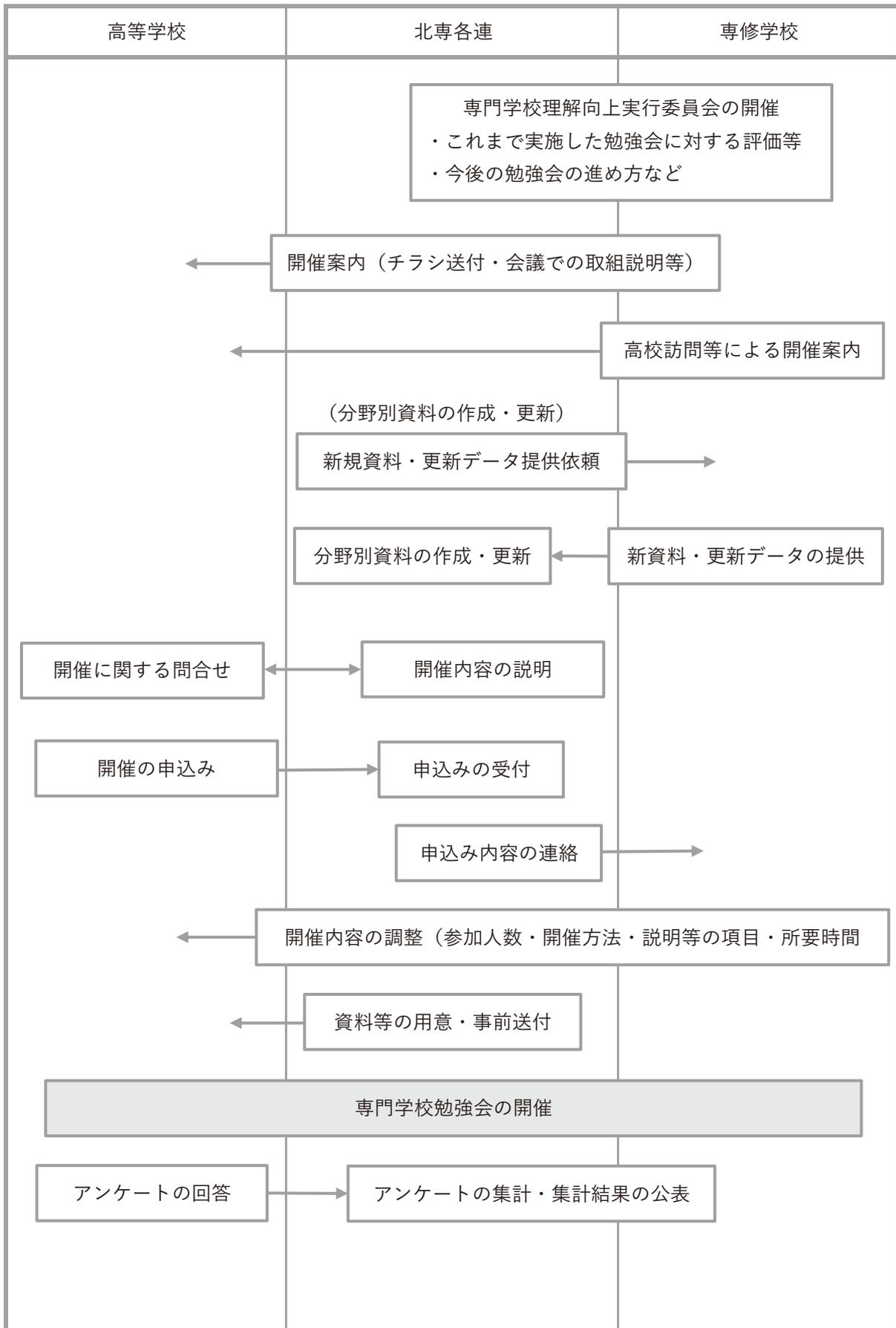
「卒業生の動向」は年代が高いほど割合が高くなり、「高校生への進路指導アドバイス例」は年代が低いほど割合が高くなる傾向にあります。

また、業種・分野に関することでは、「就職先や就職率、離職率」(25.0%)、「将来性」(22.8%)、「仕事の内容」(17.1%)、「必要な資格と内容」(16.4%)などとなっています。

こちらは「就職先や就職率、離職率」が年代が低いほど割合が高くなる傾向にあります。



III 令和2年度専門学校勉強会の流れ



IV 開催マニュアル

この章では、専門学校勉強会（以下、「勉強会」）を開催するための様々な事務の手順を説明していきます。

内容は概ね、時系列に沿ってご説明していきます。

また、説明に合わせ、必要に応じて文中に様式例や記載例を示します。

1 開催案内

高等学校に対する勉強会の開催案内は様々な機会を通じて行っていますが、例年3月に道内の高等学校に対して、案内チラシを郵送しています。

チラシの構成は、「ご案内」とこれまで勉強会に出席していただいた教員の「アンケート調査結果」（教員の年代別と合計したもの）添付しています。

令和2年3月に郵送したチラシは314ページのとおりです（添付したアンケートの内容は更新したものです）。

2 PR及び開催受付ページの整備

北専各連ではホームページに様々な事業に関するバナーを設け、バナーから個々の事業のPR及び開催受付のためのページに進むようになっていきます。専門学校勉強会についてもバナーとともにPRと開催受付のためのページを設けています。

勉強会のページでは取組内容の解説とともに、開催案内チラシと参加した高等学校教員のアンケート結果が閲覧、ダウンロードできるようになっているほか、簡単なものですが専門学校勉強会に関する問合せや申し込みができるフォームを設けています。

ページの構成は315ページをご覧ください。

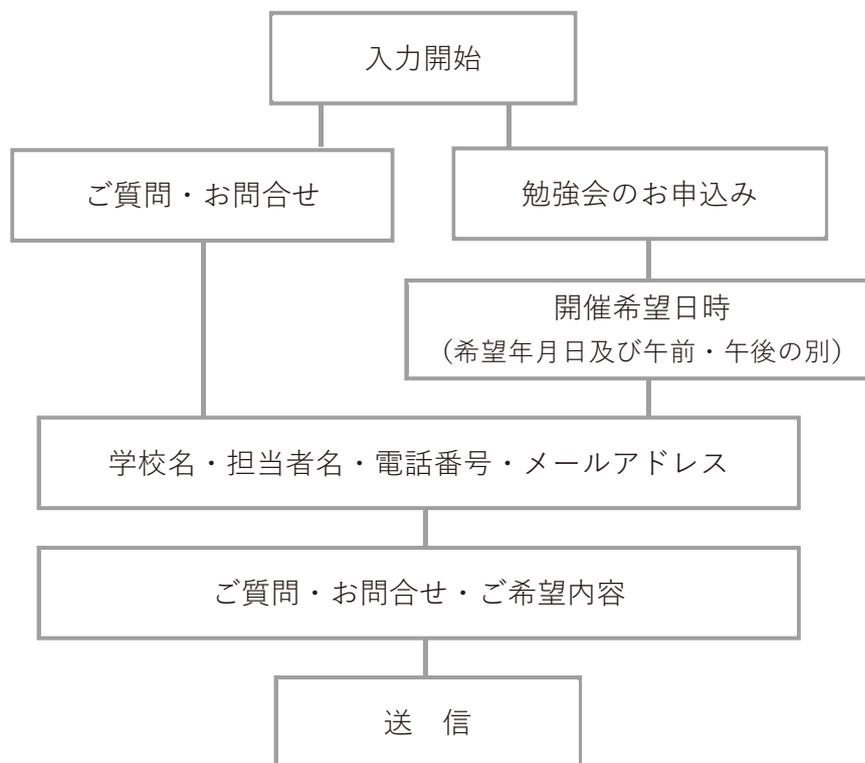
【問合せ・申込みフォームについて】

北専各連で設けているフォームは「グーグルフォーム」を使用したもので、無料で作成できるものです。

高等学校が申込みする時点では細かな決定がされていなかったり、まずは内容を知りたいといった場合を想定して、フォームの構成は簡単なものとし、最低限の入力から始めることが可能な内容としています。

フォームでの入力項目と入力手順は以下のとおりです。

【「専門学校勉強会 お問合せ・お申込みフォーム」の入力項目と入力手順】



3 開催申込み

高等学校からの開催申込みは概ね、専門学校理解向上実行委員会の委員（専修学校職員）が高校を訪問して教員に取組を説明し、具体の開催を調整していく方法のほか、取組に関心のある高等学校から申込みをいただき、具体の調整を行って開催に至る方法があります。

（1）高校訪問による調整

専門学校理解向上実行委員会の委員（専修学校職員）が高校訪問で勉強会の内容を説明し、開催内容を調整する場合には、面談時の打合せとその後の電話やメールによるやり取りなどで、開催内容が決まっていきます。

開催日時などが固まった段階で、申込みフォームに内容を記入のうえ送信していただくと、北専各連で申込みを受理します。

具体の開催内容については、引き続き実行委員と調整していただき、開催となります。

（2）フォームからの申込み

高等学校から北専各連サイトの申込みフォームに申込みがあった場合は、北専各連で申込みを受理したことを高等学校に連絡するとともに、申込みがあったことを専門学校理解向上実行委員会の委員に伝え、具体の調整をお願いします。

その後は実行委員と高等学校担当者との調整を経て勉強会の開催となります。

4 分野別資料の作成・更新

勉強会では必要に応じて複数の資料を配付し、出席者に資料をご覧いただきながら説明していきます。

北専各連では配付資料のうち「分野別資料」を作成しています。分野別資料は職業分野ごとに業界の動向などを説明した資料です。

作成に当たっては共通の説明項目を定めており、現在、次の17の分野の資料を作成しており、これらを冊子にまとめ、勉強会の開催に合わせて必要部数を印刷して配布しています。

【作成している17分野】

1 建設・建築分野 / 2 電気分野 / 3 自動車整備分野 / 4 I T
分野 / 5 G A M E 分野 / 6 バイオ・環境・海洋生物分野 / 7
医療分野 / 8 医療事務・薬業分野 / 9 調理・製菓分野 / 10 理
容・美容分野 / 11 保育分野 / 12 介護分野 / 13 観光分野 /
14 ファッション分野 / 15 エンタメ分野 / 16 ペット（動物）分
野 / 17 スポーツ分野

（1）分野別資料の共通の説明項目

どの分野の資料をみても、以下の項目は基本事項として記載されています。内容は業界ならではの状況や誤って伝わっていることなどを説明しています。

- ・業界の動向
- ・業界の主な職種
- ・高校教員の皆様に知っていただきたいこと
- ・分野独自の支援制度（奨学金制度など）

（2）分野別資料の特徴

資料には各分野ごとに上記の内容が記載されていますが、個別の専門学校の状況などは記載されていません。

これは専門学校勉強会が個々の専門学校の教育内容などを説明するものではなく、広く専門学校の教育内容を説明することを目的としているからです。

実際にどのようなに記載されているか、例えば「保育分野」の「業界の動向」は次のように記載されています。

【業界の動向（保育分野での説明内容）】

保育士は、「かわいい子どもたちの笑顔」「子どもの成長が近くで見られる」「子どもとの関りを通して自分自身も成長できる」などの魅力とやりがいのある職業といえます。

厚生労働省は希望しても認可保育所などに入れなかった待機児童数が 2019 年 4 月 1 日現在、前年同期比 3,123 人減の 16,772 人だったと発表しました。その人数とは別に、特定の保育所のみを希望しているなど待機児童に算入されない「潜在的な待機児童」は、全国で 6,028 人増の 73,927 人、道内では 16 人減り 1,947 人となっています。また厚生労働省は、保育士の有効求人倍率が高い水準で推移（2018 年 11 月の有効求人倍率は 3.20 倍）しており、処遇改善策などに関する PR 活動や、保育士の養成学校卒業者や卒業予定者への呼びかけ強化など、全国の自治体と協力して、集中的に保育士の就業促進を行っています。

特に都市部では、保育所を増やすが働く保育士が不足すると言った現象が出ており、保育士不足は障がい児施設や幼稚園教諭の採用等にも大きな影響が出ています。

また、「高等学校教員の皆さんに知っていただきたいこと」では、業界の最新の動きや就職した場合の待遇、広く誤解して伝えられていることなどをピックアップしてお伝えしています。

具体例としていくつかの項目を列記します。

【高等学校教員の皆さんに知っていただきたいこと（記載項目例）】

- ・女子技術者の需要について（建設・建築分野）
- ・キャリアアップについて（電気分野）
- ・休みも取れない業界か？（IT分野）
- ・3年生専門学校と4年生専門学校との違いは？（医療分野）
- ・離職者は多いのか？（調理・製菓分野）
- ・正社員で働けるのか？（介護分野）

（3）分野別資料の更新

分野別資料は、統計資料など説明の根拠となるデータの更新や資格等の制度改正などを反映させるため、毎年の当初に各分野ごとに原稿を作成した専門学校に更新を依頼し、6月末頃を目途に内容を更新しています。

5 開催内容等の調整

(1) 開催会場の確保等

専門学校勉強会を開催する会場は、高等学校内の会議室等をお借りしています。

参加する教員の人数、開催方法を相談し、開催に適した部屋を確保していただきます。

また、パソコンに入れたファイルを説明資料として使いますので、プロジェクターとスクリーンを用意していただいています。

(2) 開催内容の調整

専門学校勉強会で教員の方々にお伝えできることは様々ありますが、ご相談する中で学校からの希望の内容に沿った項目を主体にご説明しています。

ご説明する事項としては、例えば

- ・生徒の進学希望の多い分野の最新の動向
- ・資格の制度改正等の内容
- ・奨学資金等に関する最新の内容や手続きの方法

などが挙げられます。

また、説明項目が多くなれば所要時間も長くなるのが一般的ですが、所要時間をどの程度にするのかも併せて調整することが必要です。

6 説明者の決定、派遣依頼

開催内容がある程度まとまったら、出席する専門学校の説明者を決定します。

実際には勉強会での説明項目に基づいて、高等学校と調整を行っている実行委員から説明者の候補を推薦していただいています。

説明候補者が決まったら、関係の専門学校に説明者の派遣を依頼します。

北専各連の依頼文書の様式は 318 ページのとおりです。

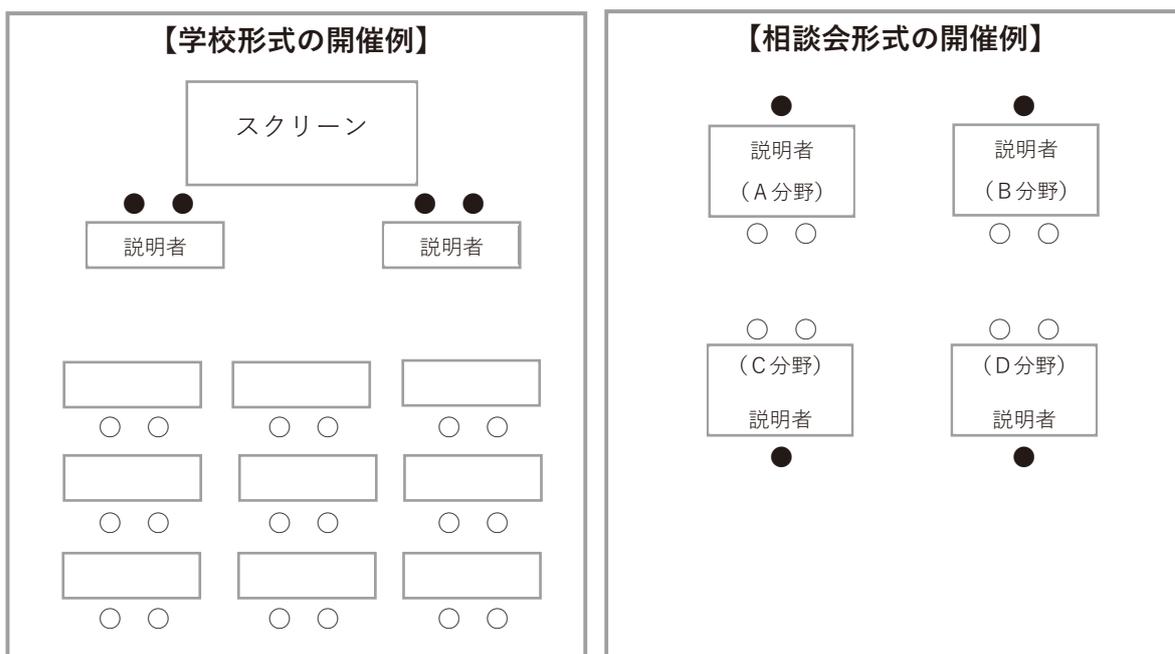
7 勉強会の開催

勉強会の開催方法としては、学校形式で会場をつくり、説明者が順に説明していく方法が一般的です。

もう一つ、各分野ごとに相談会形式で説明する方法があります。例えば複数の分野の内容を順に説明していくと、どうしても時間がかかります。また、教員によっては特に詳しく聞きたい分野があるかも知れません。

こういった場合に分野ごとにブースを設け、説明を時間を区切って同時に進めながら、出席した教員は関心のある分野を巡って話を聞くという開催方法です。以下に、それぞれ

の開催例を示します。



8 アンケートの実施

出席者にはアンケート調査にご協力をいただいています。勉強会の終了時に用紙を配布して記入いただいたり、後日、記入していただいて調査票を送っていただくなどしています。アンケートの様式は319ページのとおりです。

アンケートの結果は集計して、これまでの集計結果に積み上げて公表しています。

参加者全体のアンケート集計結果は320ページ、年代別集計結果は321ページのとおりです。

公表の方法は、北専各連のサイトで公表しているほか、開催案内チラシに集計グラフを掲載してご覧いただいています。

また、いただいたご意見は、北専各連で開催する諸会議での検討資料とし、以降の勉強会の開催に役立てています。

9 経費負担

専門学校の参加に要する経費は、基本的に各専門学校の負担としています。

どんな仕事？
必要な資格は？

給料や勤務
条件はどう
なの？

その業界は離職
率が高いと聞い
ているけど

将来性は？
生徒に薦められ
る仕事なの？

専門学校では
どんな授業を
しているの？

➡➡ 高等学校教員の皆さまの疑問を解決します

「専門学校勉強会」のご案内

道内高校卒業後の進学者 27,500 名のうち、専門学校進学者は 8,766 名です(*)。

進学者の約 3 名に 1 名が専門学校に進学しています。*令和元年度学校基本調査

専門学校に関する情報はもとより、職業・職種・資格等に関する最新の動向は、進路指導に不可欠です。



申込みから開催まで

校内で実施確認
・日程調整

- ご都合の良い時間に、ご希望の人数、内容で開催できます

専修学校連合会
へ申込み

- 当会サイトから申込みができます
- 学校形式や相談会形式など開催方法もご相談ください

勉強会の開催

- 経費のご負担はありません
会場のご提供のみお願いいたします

お問合せ・お申込み

公益社団法人
北海道私立専修学校各種学校連合会

- 電話：011-242-1955 ●FAX：011-242-1977
- E-mail : senkaku5@hsu.ac

hsu



「専門学校理解向上実行委員会」

前鼻英蔵（広報企画委員長 / 学校法人西野学園）
船本幸司（実行委員長 / 北海道情報専門学校）
野村昌昭（せいとく介護こども福祉専門学校）
香川 朗（学校法人経専学園）
谷口卓世（学校法人吉田学園）

専門学校勉強会のサイトの構成



公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会
北海道の専門学校 総合情報サイト

北海道の専門学校情報なら公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会HSU
[ニュース&トピックス](#) [お問い合わせ](#)

さあ、なりたい未来にピッタリの学校を探そう!

各分野の詳しい職種はこちら

コンピュータゲーム	建築・土木・電気 自動車・航空	農業・海洋・環境	看護	医療・リハビリ 放射線
歯科	医療事務・薬業	理美容 ファッション	調理・製菓	こども
福祉	旅行・ホテル 語学・エアライン	公務員・ビジネス	音楽・放送 デザイン	スポーツ・動物

道央 道北 道東 道南

道央エリア全て

<input type="checkbox"/> 赤平市	<input type="checkbox"/> 戸別市
<input type="checkbox"/> 岩見沢市	<input type="checkbox"/> 歌志内市
<input type="checkbox"/> 恵庭市	<input type="checkbox"/> 江別市
<input type="checkbox"/> 小樽市	<input type="checkbox"/> 北広島市
<input type="checkbox"/> 札幌市	<input type="checkbox"/> 砂川市
<input type="checkbox"/> 滝川市	<input type="checkbox"/> 伊達市
<input type="checkbox"/> 千歳市	<input type="checkbox"/> 苫小牧市

学校を探そう!!

北専各連について

専修・各種学校について

北海道の専門学校を探そう!

体験入学情報をチェックしよう!

学費・進学資について

高校教員のための

専門学校勉強会

「専門学校がわかる」
「進路指導に役立つ」

高校教員の皆さまへ

「専門学校がわかる」「進路指導に役立つ」 専門学校勉強会

令和元年度の学校基本調査では、高校卒業後の進学者27,500名のうち、専門学校進学者は8,766名です。進学者の約3人に1人が専門学校への進学者です。

一方で、道内には約130校の専門学校があり、幅広い「職業・職種」に対応していますが、専門学校の「学校/学科の新增設」や職業・職種に関する「法令等の改正」などを高等学校の多忙な現場で全てを把握するのは、非常に困難となっています。

そこで、北海道私立専修学校各種学校連合会（以下、「当連合会」）では、高校教員の皆さまに、専門学校の現状をより知っていただくための「専門学校勉強会」を無料で開催していますので、この機会にぜひご利用ください。

専門学校勉強会の概要・開催例

「ご都合の良い時間」に「ご希望の人数」で
「知りたい情報や内容」に合わせて専門学校勉強会が開催可能です！
学校様の費用負担もございません！

当連合会が開催する専門学校勉強会は、学校様のご都合の良い時間に、ご希望の人数で、知りたい情報や希望する内容に合わせて開催することができます。開催に関して学校様の費用負担などはございません。
勉強会開催の参考に、一例をご紹介します。

対象	高等学校の教員の皆さま（数名単位でも開催できます）
参加規模	高校内教員研修会で、学年団で、進路指導教員を対象に、希望教員数名で…など
開催場所	お申込みされた学校様の会議室等をお借りします
時間	90分～120分程度
講師	「専門学校理解向上実行委員会」の担当職員がご説明に伺います
内容	<ul style="list-style-type: none">・専門学校の概要（学び・卒業要件・大学との違いなど）・進学に必要な経費と奨学金（経費の種類や額、奨学金の種類・確保の仕方、制度改正の要点など）・様々なデータから確認する各職業の状況（仕事の内容、給与、将来性 など）・事前質問に対する回答（事前にご質問をいただき、勉強会で回答をご説明します）・専門学校進学における進路指導の留意点（全分野）・意見交換／質疑応答（勉強会で回答できなかった場合は、後日、回答いたします）

専門学校勉強会チラシはこちら

勉強会に参加した方への
アンケート結果はこちら

事前準備、お申し込みから開催までの流れ

1 校内で実施確認/日程調整

まず、校内で開催日時などをご相談ください。

- ・開催希望日と時間、会議室の空き状況、おおよその参加者数
- ・希望する内容（特に聞きたい、確認したいことなど）

2 専門学校勉強会の申込み

専修学校連合会事務局へ、下記の電話番号またはフォームからお申込みください。
追って「専門学校理解向上実行委員会」の担当校職員からご連絡させていただきます。

【お申込み連絡先】

公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会

TEL : 011-242-1955

[お申し込みフォームはこちら](#)

3 事前質問のまとめ

特にお聞きになりたいことなどを質問として、メールまたはFAXにてお送りください。

いただいた質問を確認し、勉強会までに回答、配布資料などをご用意いたします。

4 勉強会の開催

ご指定の日時に、ご希望のメニューに沿って勉強会を開催します。

勉強会をより良いものにするため、アンケートへのご協力をお願いいたします。

公益社団法人

北海道私立専修学校各種学校連合会

電話 : 011-242-1955

FAX : 011-242-1977

E-mail : senkaku5@hsu.ac

専門学校理解向上実行委員会

前鼻英蔵（広報企画委員長 / 学校法人西野学園）

船本幸司（実行委員長 / 北海道情報専門学校）

野村昌昭（せいとく介護こども福祉専門学校）

香川 朗（学校法人経専学園）

谷口卓世（学校法人吉田学園）

北専各連第 号
令和 年 月 日

(所 属)
(職 名) (氏 名) 様

公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会
広報企画委員長 前 鼻 英 蔵

「専門学校勉強会」に対する説明者の派遣について（依頼）

当連合会の取組に対しましては、日頃からご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、北専各連では高等学校教員に対する専門学校の理解向上のための取組を検討するため、広報企画委員会に「専門学校理解向上実行委員会」を設置するとともに、この取組の一環として、専門学校に関する事項や各職業・分野に関する事項、進学資金に関する事項等を高等学校教員に説明する「専門学校勉強会」を開催しております。

このたび「専門学校勉強会」を以下の日程で開催することといたしました。

つきましては、説明者として貴校職員のご参加をお願いしたいと存じますので、業務ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 日 時

令和 年 月 日 ()

2 場 所

〇〇高等学校 (高等学校所在地 電話番号)

担 当 :
電 話 :
F A X :
E-mail :

「専門学校勉強会」に関するアンケート

本日は、「専門学校勉強会」にご参加くださり、大変ありがとうございます。
今後の勉強会開催の参考とするため、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。
(該当する項目の□にチェックを入れるとともに、ご自身のお考えなどを記入してください。)

●年 齢

20代 30代 40代 50代以上

●教員歴

5年未満 5年以上10年未満 10年以上20年未満 20年以上

●毎日の業務で専門学校に関する情報は得られていますか。

十分に得られている ほぼ得られている あまり得られていない 情報が不足している

その他 ()

●毎日の業務で専門学校に関する情報はどこから得ていますか。(複数回答可)

専門学校の職員から 教育関係業者から 教育情報誌から インターネットから 卒業生から

その他 ()

●毎日の業務で得られる情報に満足していますか。

満足している ほぼ満足している あまり満足していない 不満である

●上記で「あまり満足していない」「不満である」と回答した方の理由は何ですか。(複数回答可)

情報の信憑性がわからない いつの情報か分からない 進路指導に役立つ形で入手できない

その他 ()

●専門学校勉強会に参加していかがでしたか。

参考になった。

どのようなことが参考になりましたか。

参考にならなかった。

参考にならなかったのはどのようなところですか。

●専門学校勉強会ではどのような内容を知りたいですか。(複数回答可)

■専門学校に関すること

学費や必要経費 入試制度 施設・設備や教育内容 取得可能な資格と合格率 奨学資金制度

卒業生の動向 高校時の成績の目安 退学率 高校生への進路指導アドバイス例

その他 ()

■業種・分野に関すること

必要な資格と内容 仕事の内容 年代別給与 求人倍率 就職先や就職率、離職率 将来性

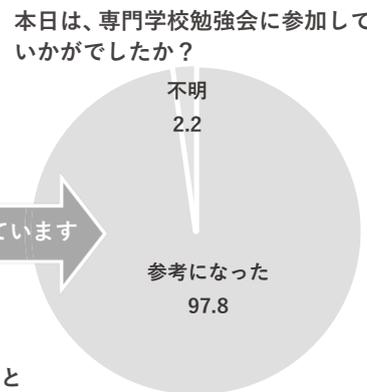
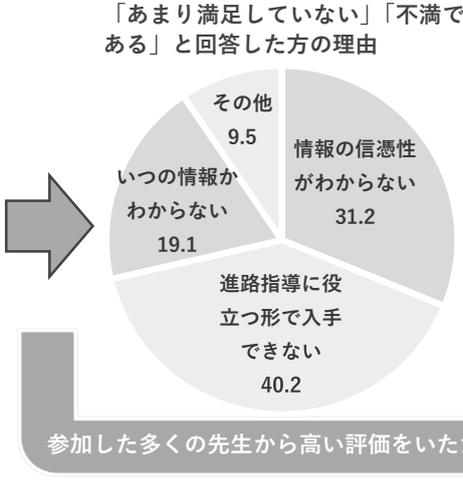
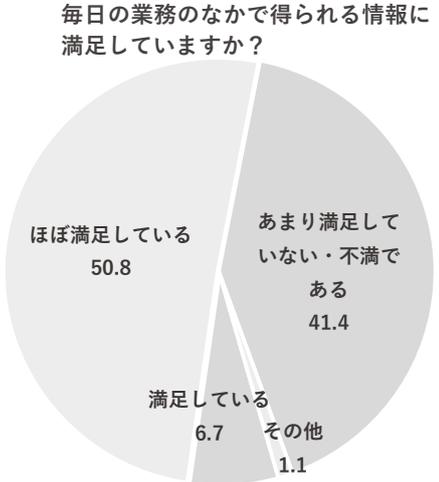
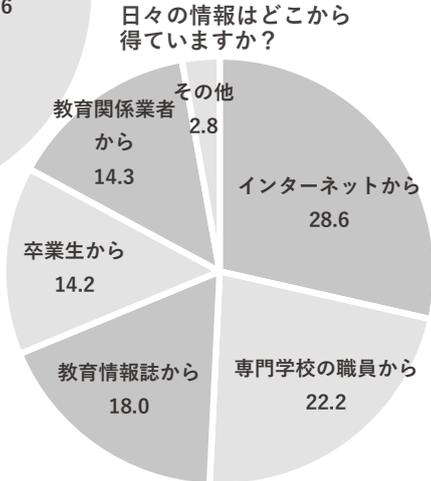
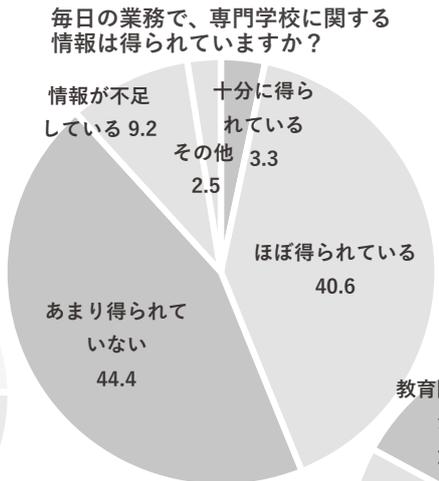
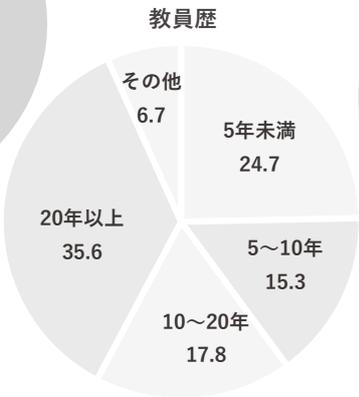
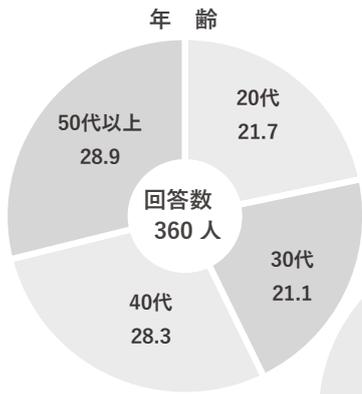
その他 ()

●ご質問やご意見、ご要望などがあればお聞かせください。

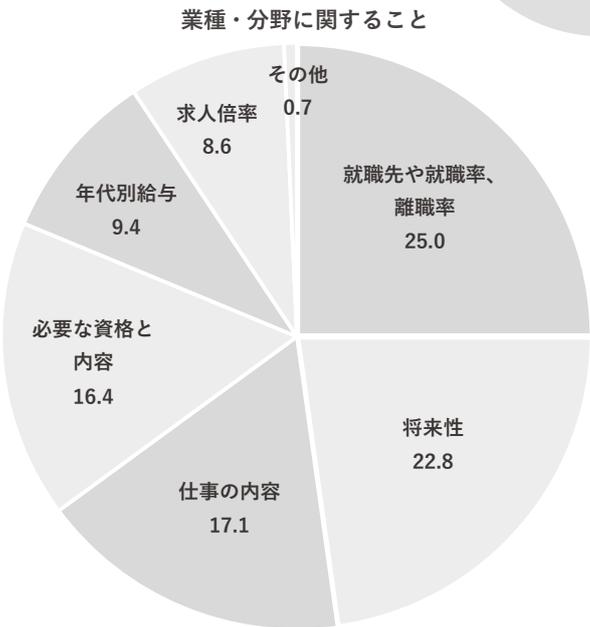
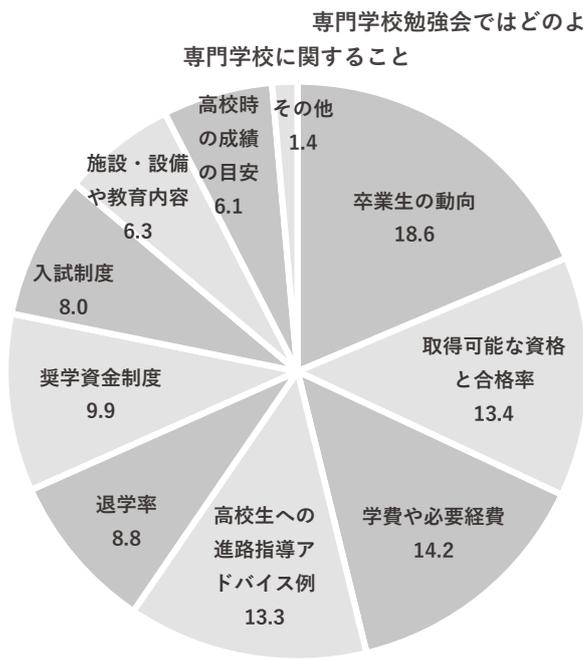
「専門学校勉強会」参加者アンケート結果

R2.10.06

(単位：%)



参加した多くの先生から高い評価をいただいています



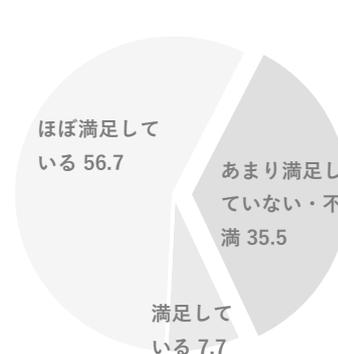
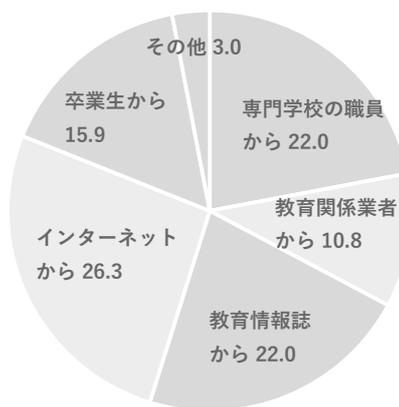
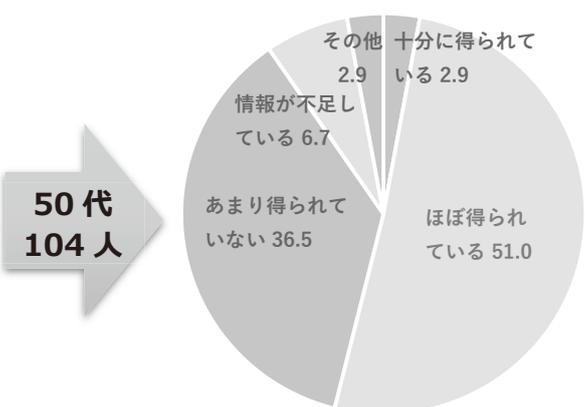
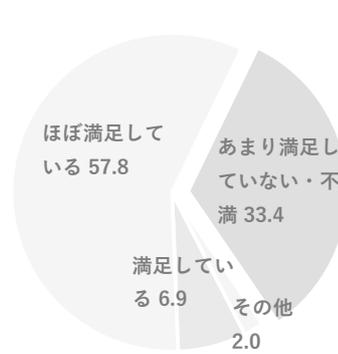
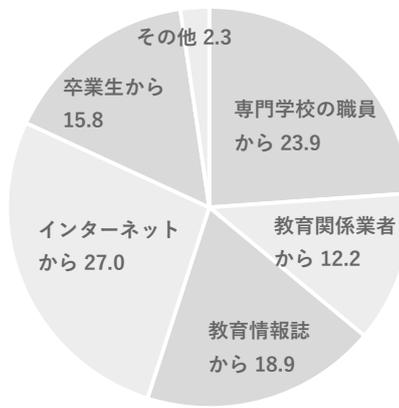
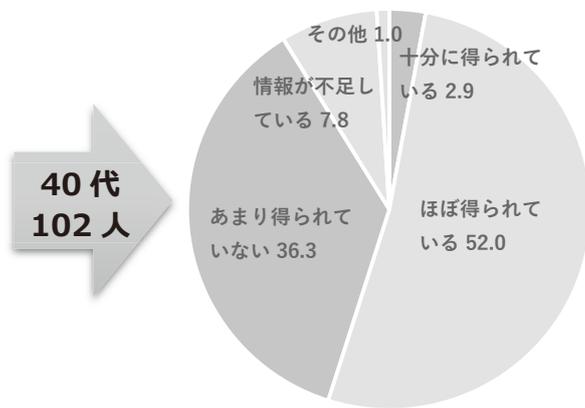
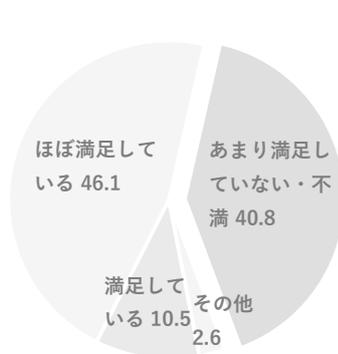
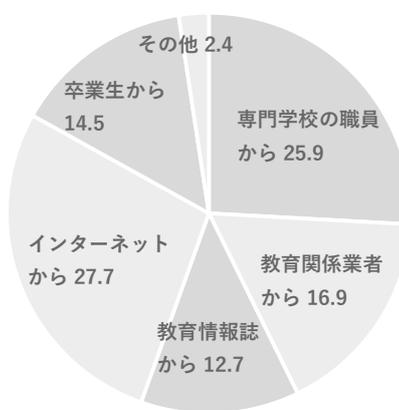
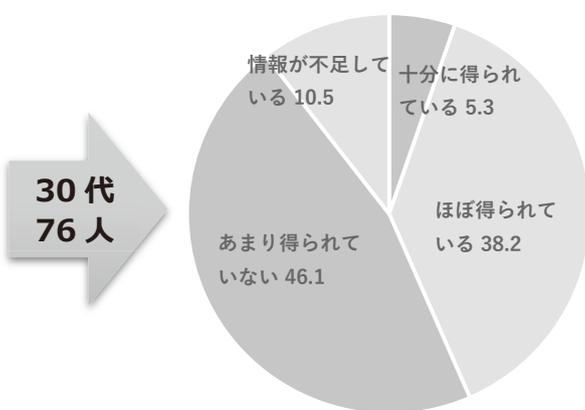
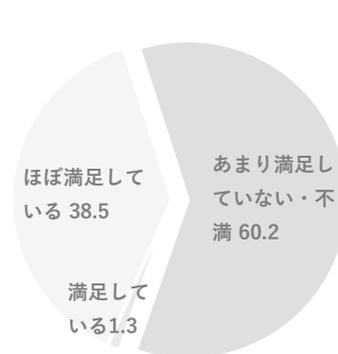
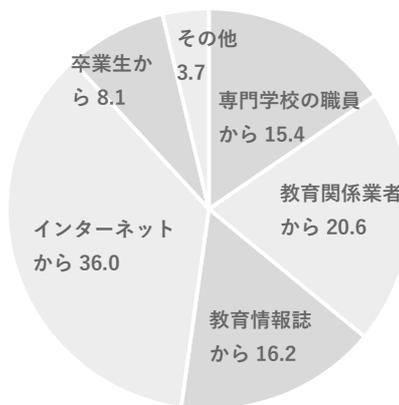
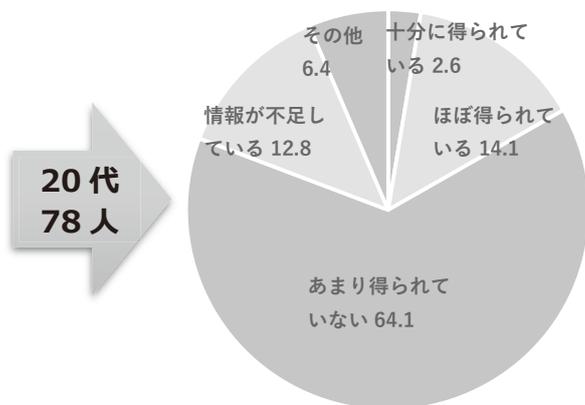
専門学校勉強会参加者アンケート結果（参加教員年代別集計）

(回答数：360人 単位：%)

毎日の業務で、専門学校に関する情報は得られていますか？

左の情報はどこから得ていますか？

毎日の業務のなかで得られる情報に満足していますか？



「あまり満足していない」「不満である」と回答した方の理由

専門学校勉強会ではどのような内容を知りたいですか？

○専門学校に関すること

○業種・分野に関すること

